

## リリースノート 2020/9

### Production Control Software PWA-PRC1 Version 2.8

#### 【概要】

プロダクションコントロールソフトウェアPWA-PRC1は、マルチポートAVストレージユニットPWS-4500またはベースバンドプロセッサユニットBPU4800を制御して、ライブ映像のスロー再生やクリップ/プレイリスト管理を行うためのソフトウェアです。

PWA-PRC1がインストールされたコンピューターにPWSK-4403をUSB接続し、各種ボタンやフェーダーレバー、ジョグダイヤルを使用して操作します。

コンピューター画面に表示される映像を確認しながら、スロー再生の速度コントロール、画像の検索、マーク位置へのキューアップ、カットアウト編集などが可能です。また、作成したクリップを一覧から選択し再生やコピーを行ったり、プレイリストに登録してハイライト編集を行うことができます。

PWA-PRC1 V2.8はPWS-100PR1/PWS-110PR1、PWS-100MG1にインストールが可能です。

#### 【バージョン情報】

PWA-PRC1: V2.8 (V2.7.0.682)

PWSK-4403ドライバー: V1.0 (V1.0.0.0)

#### 関連プロダクトバージョン

MSQ-S321: V1.38

PWS-4500: V2.8

PWA-MGW1: V2.8

BPU4800: V1.6

#### 【新機能】

V2.8では以下の新機能に対応しています。

- ・ PRCモード時にOSDに追っかけ再生時のDelay時間を表示するように対応しました。
- ・ PRCの設定を保存できるように対応しました。
- ・ Serverのパスワードが変更できるのに合わせ、PRCM上でServerのパスワードが変更できるように対応しました。

#### 【機能改善】

V2.8では以下の機能改善を行っています。

- ・ Archive Pathの設定値をアプリを再起動した後も覚えるておくように改善しました。
- ・ CameraNameの設定をSDIボードのポートに紐づけるのをやめてCameraNameだけ表示するように改善しました。
- ・ Rec Status表示をServerの状態に合わせて更新するように改善しました。

- ・ Playlist関連
  - PlaylistのStoryBord上のClipにEffectが設定されていた場合、EffectのDurationを表示するよう対応しました。
  - PlaylistをClipに一本化する時にClipの保存場所（Page,Bank）を指定できるように対応いたしました。

#### 【不具合対応】

V2.8では以下の不具合が対策されています。

- ・ PRCMを再起動するとPlaylist上のLink Clipが消えることがあった不具合を対策。

#### 【使用上のご注意】

- SystemとしてVideo Formatを合わせてお使いください。
- PWS-4500のWeb menu、System画面、Remoteタブで、Remote Protocol というメニュー項目をすべて "VTR/DISK" に設定してください。(デフォルトは"VTR/DISK"になっています。)
- ローカルサーバーの設定を変更した場合には、アプリケーションを再起動してください。
- Share Play機能で 1 台のネットワーク サーバーの素材に同時にアクセスできるPWA-PRC1はHD modeでは最大 4 台まで、4K modeでは最大 2 台までになります。(IO Configやformatによっては最大数が少なくなる場合があります。)
- サーバーがShare Play状態の時にPRC managerを再起動時する場合にはすべてのサーバーを再起動してください。
- Loop Recordingを行っている場合、一定時間後には以前記録した部分を上書きしていきますので、上書きされてしまった位置にMarkされたCue Pointがあった場合にはCueupされません。
- Loop Recordingを行っている場合、記録済みのレコードトレインファイルは一定時間後には削除されます。記録済みのレコードトレインを操作している場合には、途中で操作できなくなります。必要な素材についてはあらかじめクリップとして保存するようにしてください。
- Loop Recordingを行っている場合、記録済みレコードトレイン設定ダイアログに、Loop Recordingによって削除されたファイルが表示されている場合があります。 削除されているファイルを選択した場合には、PGMへのロードはできません。 削除されているファイルを一覧から消したい場合にはダイアログを開きなおしてください。
- クリップの登録はDurationが10Frame以上12時間未満の範囲で可能です。
- Creating中のクリップをロードした場合には、サーチ、再生操作のみ可能です。
- Share Play時に、OUT点（PostRoll位置）で自動停止、cue点で自動停止、Still zoom点で自動停止する場合には、停止位置は前後することがあります。
- ソフトボタンによるアングルの切り替えは、Live Mode以外のケースではボタンが押された位置に同期した位置へジャンプする機能になりますので、再生中の素材はアングル切り替え後は該当位置へキューアップした状態になります。
- 2PGM modeにおいて複数のPGMを同時にJogコントロールする場合の同期は保証していません。Mark点は

PGM1側を使用します。

- Preview control modeにおいてRateの異なる素材を同時にコントロールする場合は実時間の同期はしません。
- 複数のPGMが選択されている場合、CALL機能では、選択されているPGMすべてに指定されたクリップが呼び出されます。
- プレイリストのネットワーク対応について
  - ・ 2PGMで使用する場合には、ネットワークサーバー側の設定を3:1、ローカルサーバー側の設定を1:3に設定してください。フォーマットによってTxとして3が設定できない場合、Next画がネットワーククリップの時はPGM2はClose状態になります。Other Angleでネットワーククリップに入れ替えた場合ダミークリップになる場合があります。この時プレイリストをロードし直すことによりダミークリップが解消される場合があります。
  - ・ Copy To Localを行うためには、あらかじめセッティング画面のSystem画面内にあるローカルサーバーのNetwork/PL clip save pageでコピー先ページの設定を行う必要があります。
  - ・ PRC ManagerがServerを認識した時にはダミークリップ用に“VFLFILLERCLIP”, “VLFL(date)(time)”という2つのファイルが自動的に作成されます。これら2つのファイルは削除しないようにしてください。削除した場合にはServerを再起動してください。
- 他のアプリケーションからサーバーに対して操作が行われている場合、サムネイル取得ができない場合があります。その時サムネイル表示は取得できないことを示すアイコンになります。
- 4K Formatの素材を使ってCutoutを行う場合、Zoom 100%はQFHD(3840x2160)となります。
- Cutout Still Zoom付のクリップをロード中は他のクリップの削除はできません。
- CutoutのConfigの場合はCharacter Superの設定をPRC modeで使用してください。
- HFR素材のクリップに対してCutout Still zoomを設定した場合には、Leverの100%でHFR Slow再生となります。
- Mark Cue Points をLiveに設定している場合、記録済みのレコードトレインをアクティブにしている状態ではCue Mark機能は使用できません。
- Rst CAM機能はレコードトレインに対してのみ有効で、クリップをロードしている時は無効です。
- 2PGM Modeの場合、PGM1に下記カム入力を選択した場合にはサーバーのTime Shifted Playの設定をShortest DelayにしてもFrom Storage Onlyの設定と同じ追っかけ動作になります。  
HD HFR 1inの時 : CAM A
- PWS-4500の出力ポートのPort TypeをOutputに設定した場合、Preview control mode EnableにするとサーバーのTime Shifted Playの設定をShortest DelayにしてもFrom Storage Onlyの設定と同じ追っかけ動作になります。
- 起動時まれにスプラッシュ画面が表示されたままになることがありますが、エラーメッセージの表示がスプラッシュ画面に隠れている場合がありますので、タスクバーを確認してください。
- PWA-PRC1の操作中にサブモニターのケーブルの抜き差しを行うと、サブモニターの画面がメイン画面上に表示され

ることがあります。その場合には、Settings画面GUI and panel linksのUpdateボタンを押してサブモニターを認識させてください。

- マウ斯卡ーソルは、サブモニター上に移動できてしまいますが、メインディスプレイ上の範囲内で使用してください。サブモニター上にある場合、確認ダイアログがメインディスプレイセンターに表示されなくなります。
- Link ClipをArchiveする場合は、Copy to Localを行ってから実行してください。
- BPU4800をローカル サーバーとして接続した場合には、設定されているリファレンス信号の入力が正しくない場合のワーニング表示には対応していません。
- BPU4800で音声記録されている場合の音声の出力はPlayボタンでの再生時のみとなります。
- BPU4800のフォーマットに関する設定を変更する場合には、PWA-PRC1を終了してから行ってください。設定変更後は1分以上たってからPWA-PRC1を起動してください。
- すばやい操作を行った場合にまれに操作に反応しないことがあります。その場合には再度同じ操作を行ってください。